

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第10期第1四半期(平成26年4月1日～平成26年6月30日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

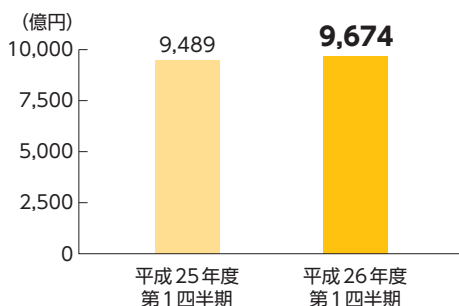
証券コード：8306

平成26年度第1四半期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結第1四半期純利益(平成26年4月～6月)は、期初通期業績目標9,500億円対比25.3%の進捗となる2,404億円
- 貸出金は、前年度末比1,370億円増加、預金は、4,618億円減少
- 普通株式等Tier1比率は、11.05%

連結業務粗利益



タイのアユタヤ銀行連結化の影響もあり、海外の資金利益や役員取引等利益が堅調に推移しました。また、国内の投資銀行収益も好調に推移しました。特定取引利益・その他業務利益は減少したものの、連結業務粗利益は、前年同期比185億円増加し9,674億円となりました。

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)

資金利益	
信託報酬+役員取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額(△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益(△)	
連結第1四半期純利益	

(単位: 億円)

平成25年度第1四半期 (平成25年4月～6月)	平成26年度第1四半期 (平成26年4月～6月)
9,489	9,674
4,413	4,907
2,957	3,094
2,118	1,673
675	854
5,665	6,282
3,823	3,392
△ 154	△ 74
128	179
396	448
12	3
4,206	3,949
△ 268	△ 339
△ 954	△ 977
430	227
2,552	2,404

営業費

アユタヤ銀行の連結化や円安の影響、海外業務拡大に伴う費用の増加により、営業費は前年同期比616億円増加しました。

与信関係費用総額*

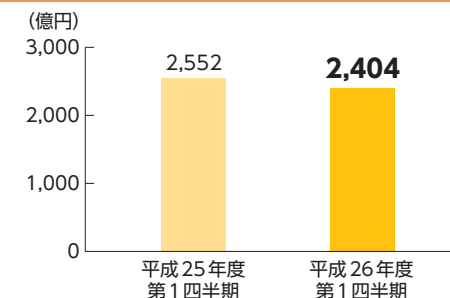
貸出先の信用力の改善を主因に、与信関係費用総額は前年同期比79億円改善し、74億円となりました。

* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関連費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

株式等関係損益

株式等償却の減少を主因に、株式等関係損益は前年同期比51億円改善し179億円の利益となりました。

連結第1四半期純利益

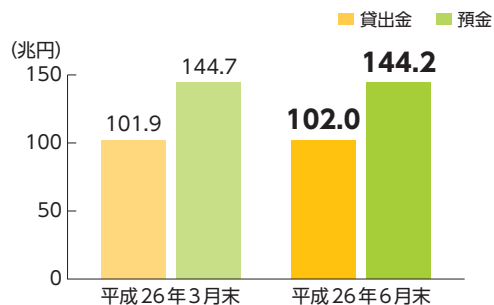


連結第1四半期純利益は、前年同期比147億円減少し、2,404億円となりました。今年度の通期目標9,500億円に対する進捗率では、25.3%と堅調なスタートとなりました。

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

平成26年度第1四半期の業績

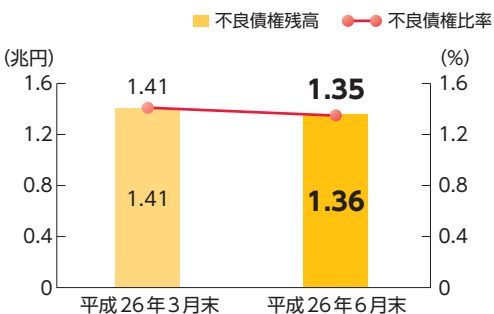
貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人貸出の増加により、前年度末比0.1兆円の増加となりました。

預金残高は、個人預金は増加しましたが、法人預金・海外預金の減少により、全体で0.4兆円の減少となりました。

不良債権残高・比率*



不良債権比率は1.35%と、前年比0.05ポイント低下しました。

* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	2,581,319	2,593,951
貸出金(銀行勘定)	1,019,389	1,020,759
有価証券	745,155	720,377
うち国債	406,499	383,317
負債の部合計	2,430,190	2,446,210
預金	1,447,602	1,442,984
純資産の部合計	151,128	147,741

不良債権の状況

不良債権(金融再生法開示債権)	14,181	13,620
不良債権比率	1.41%	1.35%

有価証券評価損益の状況(連結)

その他有価証券評価損益	18,699	23,426
-------------	--------	--------

自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	11.25%	11.05%
Tier1比率	12.45%	12.37%
総自己資本比率	15.53%	15.53%
リスク・アセット	990,843	1,013,234

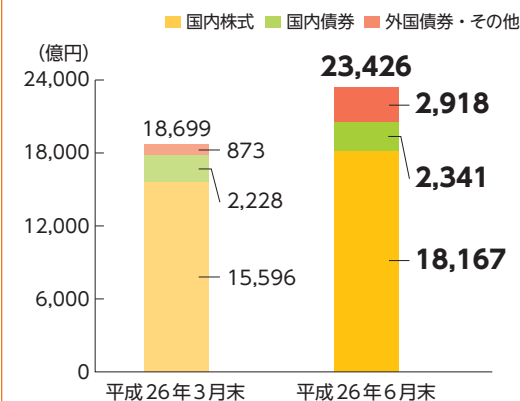
(単位：億円)

	平成26年3月末	平成26年6月末
資産の部合計	2,581,319	2,593,951
貸出金(銀行勘定)	1,019,389	1,020,759
有価証券	745,155	720,377
うち国債	406,499	383,317
負債の部合計	2,430,190	2,446,210
預金	1,447,602	1,442,984
純資産の部合計	151,128	147,741
不良債権(金融再生法開示債権)	14,181	13,620
不良債権比率	1.41%	1.35%
その他有価証券評価損益	18,699	23,426
普通株式等Tier1比率	11.25%	11.05%
Tier1比率	12.45%	12.37%
総自己資本比率	15.53%	15.53%
リスク・アセット	990,843	1,013,234

国債

日本銀行の量的緩和政策に対応し、国債の保有残高は、前年度末比2.3兆円減少し、38.3兆円となりました。今後も、国債の安定保有を原則としつつ適切な管理を行っていきます。

有価証券の含み損益



株式相場の上昇により、国内株式の評価益は、前年度末比2,570億円増加しました。また、市場金利の低下により、国内債券の評価益は112億円増加、外国債券の評価損益は1,485億円改善しました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は11.05%と、十分な水準を確保しています。

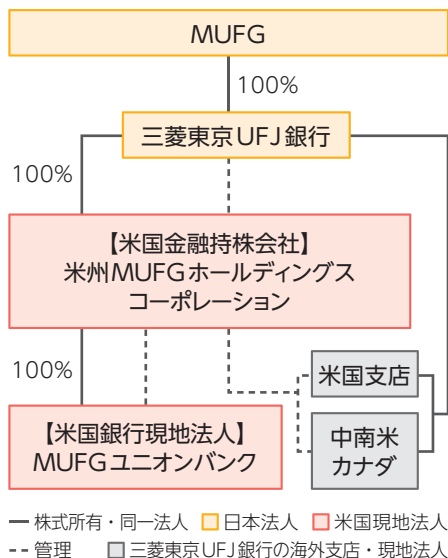
* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

クローズアップMUFG

2014年7月、三菱東京UFJ銀行の米州事業と、同行の100%出資子会社ユニオンバンクの事業を統合しました。また、ユニオンバンクは、「MUFGユニオンバンク」に改称、その親会社のユニオンバンカル・コーポレーションは、MUFGユニオンバンクや三菱東京UFJ銀行の米州拠点・子会社の米州事業を統括する金融持株会社「米州MUFGホールディングスコーポレーション」となりました。ここでは、MUFGの米州戦略とMUFGユニオンバンクを紹介します。

Q. 今後の米州事業の戦略を教えてください。

A. 三菱東京UFJ銀行の米州事業とユニオンバンクの業務統合により、①外貨調達力の強化(ユニオンバンクが有するドル預金の活用)、②それぞれの銀行が有する顧客基盤・地域・商品力などの強みを融合させることによる収益力の強化、③ガバナンス(企業統治)態勢の強化を目指します。これまでユニオンバンクが提供してきたサービスに加え、三菱東京UFJ銀行の米州本部が提供してきたグローバル大企業向けサービスや、投資銀行業務を積極的に展開し、規模、収益力で米国トップ10に入る金融機関を目指します。



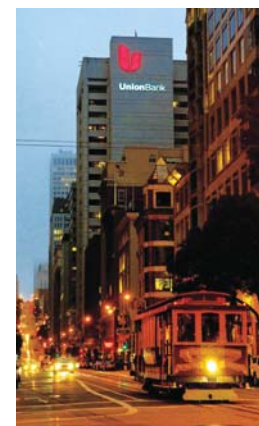
MUFGユニオンバンクの概要	
設立	1864年米国カリフォルニア州サンフランシスコにて設立
本社	コーポレート本部：米国ニューヨーク州ニューヨーク 本店：米国カリフォルニア州サンフランシスコ
従業員数	約13,000人
拠点数	413拠点(2014年3月末時点)
総資産*	10,589億米ドル
貸出・預金残高*	貸出残高/683億米ドル、 預金残高/801億米ドル
純利益*	667百万米ドル
長期格付	A2 (Moody's)、A+ (S&P)、 A (FITCH)

*2013年12月期末時点(ユニオンバンカル・コーポレーション 連結)

Q. 日本で利用できるサービスはありますか？

A. 三菱東京UFJ銀行に口座をお持ちの20歳以上の個人のお客さまであれば、原則、三菱東京UFJ銀行の海外口座ご紹介サービス(カリフォルニアアカウント・プログラム)により、日本にいながら日本語でMUFGユニオンバンクの米ドル建預金・決済口座を開設することができます。*1

カリフォルニア州・オレゴン州・ワシントン州内の600台以上のユニオンバンクのATMと米国および全世界の提携ATM*2をご利用できますので、米国への赴任や出張、旅行時に便利です。また、お電話でのお取引には、日本語を話すスタッフが対応しますので、安心してご利用いただけます。

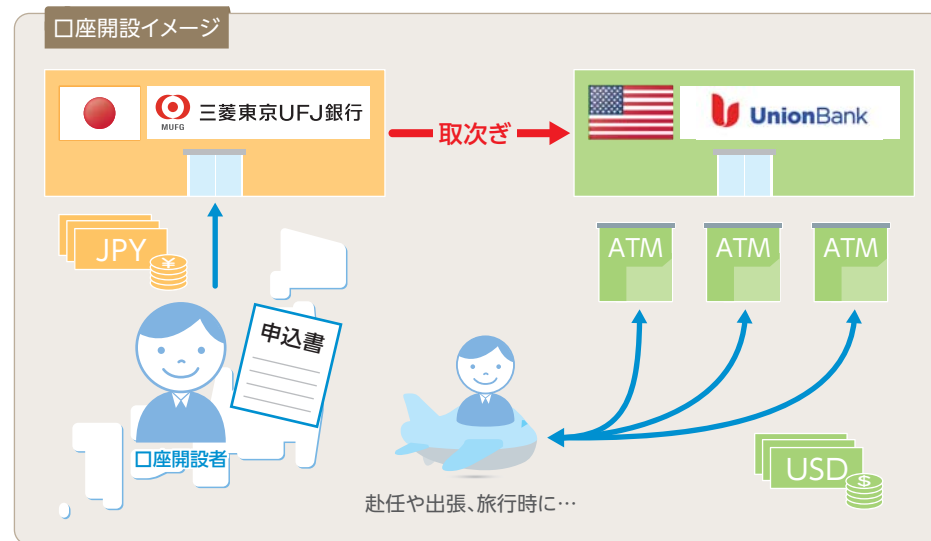


サンフランシスコ本社の様子

▶ 口座開設のお申し込み書類、資料は、三菱東京UFJ銀行のホームページからご請求いただけます。

*1 ユニオンバンクの口座は米国の預金保険制度(FDIC)の対象であり、一定額まで保護されます。日本の預金保険制度の対象ではありません。また口座の種類によっては、口座維持手数料がかかる場合があります。

*2 提携ATMをご利用の場合は利用手数料がかかります。



1 三菱UFJ信託銀行、暦年贈与信託「おくるしあわせ」の取扱い開始

2014年6月、三菱UFJ信託銀行は暦年贈与信託「おくるしあわせ」の取扱いを開始しました。本商品は、2015年1月からの相続税制改正により高まる「生前贈与」ニーズに対応し、毎年の生前贈与の手続きを管理手数料無料で代行する商品です。①贈与手続きが簡単、②贈与取引を確実に記録できる、③毎年1回、贈与手続きのお知らせが届くため贈与の機会を忘れない、といった点が特徴です。

同社は、大切なご資金を、大切なご家族等のために贈与しておきたい、という「生前贈与手続き」をお手伝いすることで、お客さまの「円滑な資産承継・資産管理」ニーズに応えていきます。



0120-06-4087
ご利用時間 平日・土・日 9時～17時(祝日等を除く)

2 三菱東京UFJダイレクト、セキュリティ強化

2014年8月、三菱東京UFJ銀行は、インターネットバンキング「三菱東京UFJダイレクト」での第三者による不正送金に対するセキュリティ強化のため、「ワンタイムパスワード」の提供を開始しました。

振込などを行う際、従来のご契約カードに記載された乱数にかわって、一度きり有効なパスワードを利用することで、不正送金の被害にあうリスクが軽減されます。ワンタイムパスワードのご利用には、スマートフォンの専用アプリケーションが必要となります。インターネットバンキング(パソコン)からお申し込みいただけます。



3 マレーシア三菱東京UFJ銀行 イスラム債発行プログラム設定

マレーシア三菱東京UFJ銀行は、日本の銀行子会社として、初めてイスラム債の発行枠を設定しました。これにより、米ドル、日本円、マレーシアリングギットなどの複数の通貨で総額5億米ドル相当額の債券を発行することができます。

イスラム債とは、一般的な社債と同様の経済効果を持ちつつ、利子という概念を用いないなどイスラム教の教義に適合した債券で、その発行額は増加傾向にあります。

イスラム方式による融資業務には、イスラム方式により調達した資金を用いることが望ましいとされており、同行は、さらなる経済成長が予想されるイスラム教国での業務拡大に向け、本発行枠を活用していきます。



4 三菱UFJフィナンシャルパートナーズ開業

2014年7月、三菱東京UFJ銀行100%出資子会社の「三菱UFJフィナンシャルパートナーズ」が東京で業務を開始しました。

同社は、三菱東京UFJ銀行の銀行代理業者として、中小企業や個人事業主のお客さまに対し、ご融資をはじめ、預金や為替などの業務を行います。また、ビジネスマッチング(お取引先紹介)や事業承継に関するアドバイス、MUFGグループ各社の専門的なサービスのご紹介などを通じて、お客さまの経営サポートも行っています。

中小企業や個人事業主を支えるパートナーとして、今後は大阪、名古屋でも業務を行っていく予定です。



MUFGは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、次世代の担い手の育成に向けた取り組みと、海外拠点の地域貢献活動などをご紹介します。

TOMODACHI・MUFG国際交流プログラム

MUFGは、東日本大震災の被災地の復興支援や日米の相互交流を目的とし、第3回「TOMODACHI・MUFG国際交流プログラム」を実施しました。

このプログラムでは、2014年7月の下旬から8月上旬にかけて、被災地の中高生26名が、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市を訪問し、英語を学習したほか、地域コミュニティとの交流、現地の日系企業や大学訪問を行いました。

参加した学生からは、「現地の学生との交流やホームステイを通じて世界が広がった」といった感想や、「将来は、世界で活躍できる大人になりたい」といった感想が寄せられました。

MUFGは今後も、次世代社会の担い手である学生を主な対象に、日米相互理解やキャリア育成の機会を提供していきます。



MUFGの地域貢献活動(第7回)

三菱東京UFJ銀行 バンコック支店

タイのバンコック支店では、地域の子どもたちに経済や金融を楽しく学んでもらうため、「金融経済教育活動」を行っています。

昨年度は、同支店のスタッフが、障がいのある子どもたち430人が暮らす施設を訪問し、経済の仕組みやお金の大切さについて授業を行いました。子どもたちは、おもちゃのお金を用いて、模擬店舗で買い物体験をしながら、楽しく学びました。

MUFGは、今後も積極的に、子どもたちがお金や経済を学ぶ機会を提供していきます。



平成26年の株主特典コース受付終了のお知らせ

平成25年11月にご案内した平成26年の株主特典コース(ピーターラビット™オリジナルグッズまたは「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」への寄付)の受付は、終了しました。多くの株主さまからご応募いただき、誠にありがとうございました。なお、株主さまのご不在・住所不明などにより当社に返送されたグッズにつきましては、平成26年9月30日までの保管となりますのでご了承のほどお願い申し上げます。

「ご優待クーポン券」は平成26年12月30日までご利用いただけます。詳細は平成25年11月にお送りしました「ご優待サービスご利用ガイド2014」をご確認ください。

お問い合わせ先：MUFG株主倶楽部専用デスク 0120-321-629(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
「『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
「いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい」
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

平成26年9月発行
本誌はFSC® 認証紙、植物油インキを使用しています。

